

H31 1 ー

【出題の趣旨】図表やグラフなどを用いた目的を捉えることができるかどうかをみる。

【正答】 資料2に2、資料3に4と解答

【予想される誤答】 1 3 5 と解答しているもの

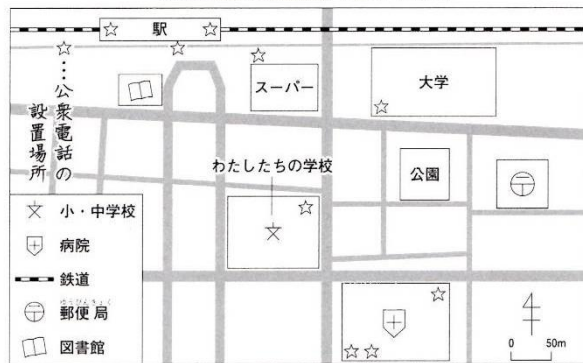
【資料2】

公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

【資料3】

公衆電話の設置場所を示した地図



【予想される誤答の主な原因】

- 図表が表現している内容と文章とを関係付けて読むことができていない。
- 「1」: 「ちがひ」という言葉だけに着目して、書かれている理由の違いを読んでいる。
- 「3」: 「数値」と「移り変わり」という言葉に着目して、理由が変化していることを移り変わりと捉えてしまっている。
- 「5」: 「場所やもの」と「実際の様子」という言葉に着目して、「写真で示し」のキーワードを図と結びつけていない。
- 図表を比較して、効果や表現のよさを捉えることができていない。
- 図表に表現されている内容を整理できていない。

【指導のポイント】

- 図表を比較し、図表のタイトルや記されていることからわかることを整理する。
- 図表が説明している文章と図を関係付け、図表に関連する文章にサイドラインを引かせる。
- 図表を挿入するよさについて、整理することで、それぞれの効果について理解させる。
- 他の比較資料を準備し、筆者の意図を考えさせる活動を仕組む。

【過去の関連問題】

全国学力・学習状況調査 H25A 四 ア、イ、ウ H28B 二 (1) H28B 二 (2)

H31 2 ー(1)

【出題の趣旨】目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるかどうかをみる。

【正答】 3 と解答しているもの

【予想される誤答】 1、2、4と解答しているもの

【予想される誤答の主な原因】

- 問いに対して、答えになる文章を正確に取り出すことができていない。
- ① 答えである結果だけを抜き出そうとする。
- ② 原因と結果を関係付けて、読むことができない。
- ③ 文の役割を考えて文を取り出すことができない。

【指導のポイント】

- 「読むこと」の学習では、目的意識を明確にして読むことができるような単元構成を仕組むこと。
- 教科書の活用だけではなく読み物資料を広げる単元構成の工夫を行うこと。
- 文章の構造や文の役割を知識として身につけさせること。
- 読み方の系統性を明らかにして、言葉を選択できるように計画的に指導していくこと。

【資料】

食べ物の保存について

調べようと思ったきっかけ

春休みに、祖母から梅干しをもらったが、それが十年前に作られたものだど知りおどろいた。十年もたつのになぜ食べられるのかと聞く。塩づけにしたり干したりしているからだというのだ。昔の人はくふうして食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思ったこと

① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。

② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

調べて分かったこと

① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、

ア

イ

理由は、

② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった

【過去の関連問題】

全国学力・学習状況調査 H28A 5 H28B 3 三 H30 B 3 二

一 宮原さんは、【資料】を読み、ノートにまとめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) ノートの一部のアには、疑問に思ったこと①の答えになる内容が入ります。

その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 水分が多くなり、食べ物がぐさりやすくなるから。
- 2 細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。
- 3 水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。
- 4 細菌が減り、水分を増やすことができるから。

H31 1三 ○ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。
そこで、地いきの人三十人を調査の「たいしゅう」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが「資料2」です。「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。
このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。
・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・停電のときでも、硬貨を使って通話することができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということが分かりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話を必要とするときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが「資料3」です。
この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。
調査の結果をもとに考えたこと
調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。なぜなら、

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかとすることも考えました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカざらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

【正答例】
○公しゆう電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。(68字)

【予想される誤答の主な原因】
○条件を満たして書いていないもの
① 調査の内容と結果(1)のみの解答。
(例) けいたい電話を忘れたときや電源がきれたりすることがあるからです。
② 調査の内容と結果(2)のみの解答
(例) 電話が混み合っているときや停電のときでも、優先的につながりやすいからです。

【指導のポイント】
○主張に対する明確な根拠と答えを取り出すようにすること。
○相手や状況が異なる場面を設定し、適切な表現について考え、表現する活動を設定すること

○ 授業場面で(根拠や理由を明確にして自分の考えをまとめる授業)

調べたことをもとに、公衆電話の必要性について自分の考えをまとめよう。

私は、公衆電話が設置してある場所についての調査結果から必要だと思いました。資料3を見てください。この図にあるように、公衆電話は、人が多く集まる場所に設置してあることがわかります。必ずしも携帯を全員がもっているとは限らないと考えたことから、公衆電話は必要だと思えます。

そうだね。資料から、以外と公衆電話が設置してあるところが多いことが分かるね。でも、どうして人が多く集まる場所に設置しているんだろうね。

Point 資料をもとに説明しているよさを賞賛します。さらに、事実と理由の関係から人が多く集まる場所に設置する理由を推測させて考えを広げます。

公衆電話の必要性について調べたことを話し合い、自分の考えをまとめよう。

Point 違った見方から考えたり、調べたりした子どもの意見を出し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりします。

私も、公衆電話は必要だと思います。資料2を見てください。公衆電話が必要な理由をまとめています。その中で一番解答が多かったのが、携帯電話を忘れることがあるということです。私も忘れると困ると思うからです。

二つの資料を比べて見ると、それぞれ必要な理由が異なるようだね。似ている考えもあるようだね。

ぼくは、二つの資料から、「人が多く集まる場所にあるのは、誰もが携帯電話を忘れたときにすぐ公衆電話を活用できるように」じゃないかと思えます。

なるほど。二つの資料は、表と図といった違う形式の資料だけど、共通する理由もあるということだね。

Point 資料の効果を考えさせながら、活用するよさを押さえるとともに、共通点や相違点を考えさせながら、考えを深めていきます。

それぞれ、資料を根拠に公衆電話の必要性について考えてきました。二つの調査結果と資料から、なぜ公衆電話が必要だと思うのか考えをまとめてみよう。

まとめるときには、誰もが納得いくように調査の内容と結果を根拠にまとめること。また、70字以内でまとめることです。

私は、二つの資料の調査結果から、公衆電話は必要だと思えます。なぜなら、緊急のときに使えるというよさが公衆電話にはあるからです。

ぼくも、公衆電話は必要だと思えます。なぜなら、緊急の際にかならずしも携帯電話がつかないとは限らないからです。

そうですね。資料と調査結果から考えたことをもとに自分の考えをまとめることができましたね。

Point 資料や調査結果といった事実を根拠として、自分の意見をまとめることができたことを賞賛します。又、説得力のある説明の仕方のよさを押さえます。

終末 展開 導入

めあて 調べたことをもとに、公衆電話の必要性について話し合い、自分の考えをまとめよう。

資料2 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	12人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいふい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつかりにくいときに必要	3人
その他	5人

理由 ↓緊急の場合に連絡がとれないから

資料3 からわかったこと (調査結果から) 調査結果から考えられる設置理由
①携帯電話を忘れたとき
②誰でも連絡がとれるように
↓必要なときに活用できるように

共通点 ↓多くの人が、必要な時に利用できるように
↓誰もが必要なときに連絡できるように【例】緊急な場合など

まとめ ○条件 二つの調査結果を根拠として 七十字以内でまとめる

公しゆう電話は、必要です。なぜなら、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされていたり、きん急のときにも使うことができたりするからです。